

海外移住者子弟等研修生の研修の様子

研修生の大工廻 ルーカス ケンゾさんは、10月から本格的に研修をスタートさせ、日本語や三線などを学んでいます。日本と沖縄の文化・芸能を勉強し、母国ブラジルで活かせるよう頑張っています。



村文化祭にて鳩間節を披露



紅型体験



金武、宜野座、中城、西原の研修生と合同研修



サンゴの植え付け

SDGs de 地方創生 カードゲーム体験会



「SDGs de 地方創生 ともに考える、持続可能な恩納村の未来」（主催・NPO法人イシュープラスデザイン）が10月14日、ふれあい体験学習センターで行われました。民間企業や関係団体等から約70名が参加し、講演とシュミレーションカードゲームをとおしてSDGsと地方創生について学びました。

カードゲームでは仮想の2つの村に分かれ、一次産業従事者や経営者などの住民と行政担当者などの様々な役割があり、「人」「お金」「情報」といった資源を使いプロジェクトを達成していくという内容です。

様々なプロジェクトを実行することにより、「人口」「経済」「環境」「暮らし」の4つの指標が増減し、最終的に12年後どのように変化しているかが見えてきます。

個人や一企業だけでは達成できないプロジェクトも、対話や協働により達成し、村に変化が生まれることに気付いた参加者が多くいらっしゃいました。

今後もこのようなイベントやセミナーにより、SDGsの普及啓発に努めていきます。



大和ネクスト銀行 応援定期預金で寄付

大和ネクスト銀行の応援定期預金が今年4月からスタートし、第1回目の寄付金贈呈が行われました。大和ネクスト銀行の専用定期預金に「サンゴを守る沖縄県恩納村応援定期預金」を設定、預金残高の一定の割合を大和ネクスト銀行が本村のサンゴ礁保全活動へ寄付する仕組みです。

寄付金の贈呈にあたり、村長は「支援によりサンゴ礁保全活動への関心が高まっている。サンゴを守るために大切にに使わせていただきます」と感謝しました。大和証券吉田那覇支店長は、「引き続き応援してまいります」と応えました。

